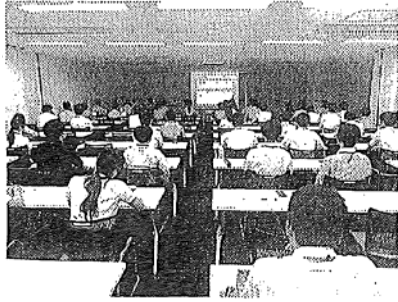


最優秀賞に河原さん

建コン協 若手技術者が交流

建設コンサルタント協会九州支部（種山泰治支部長）は19日、福岡市の博多バスターミナルで2025年度若手技術者交流会を開いた。写真。



オンラインを併用したハイブリッド方式で、若手技術者13人が日頃の研究成果などを発表した。審査の結果、河原慶佑さん（復建調査設計）の「中心市街地における帰宅困難者対策 退避施設の開設・運営マニュアルの作成」が最優秀賞に輝いた。

冒頭、あいさつした眞間修一（総務・企画部長）は「技術の新規性よりも、業務上の課題や解決策などを持っているかどろかが重要だ。今の状態よりも将来の伸びしろがある人を評価する」と交流会の趣旨を説明した。

発表会は、質疑応答を含め1組15分の持ち時間で発表した。発表部門の優秀賞は、近藤嘉人さん（東京建設コンサルタント）の「ゲームエンジンソフトを用いた水災害リスクの見える化について」、川崎悟司さん（長大）の「河川改修に伴う橋梁施工計画の最適化」、大山桃佳さん（建設技術研究所）の「民間企業における水害版BCP（事業継続計画）策定の技術的支援企業への『水害の自分事化の普及』」。

論文部門の優秀賞は、小材駿斗さん（日本港湾コンサルタント）の「能登半島地震に伴う、小水港被災施設復旧検討業務」、池田一喜さん（大

日本ダイヤコンサルタント）の「2次元非線形FEM解析による耐震設計上の地盤種別の検証」、三浦勇輝さん（八千代エンジニアリング）の「新技術を用いたコンクリートダムのクラック点検と安定性評価」だった。

このほかの発表テーマと発表者は次のとおり（敬称略）。

- ▽1級河川防潮鉄扉遠隔操作化に向けた設備・通信の基本検討
- ▽松田優斗（第一復建）
- ▽天神東側道橋詳細設計
- ▽八尋久志（共同技術コンサルタント）
- ▽既往点検結果の再検証による橋梁補修設計の合理化
- ▽イスマジユ（日本工営）
- ▽点群データを活用した真境を跨ぐ（また）ぐ林道の測量設計について
- ▽藤岡颯（協同エンジニアリング）
- ▽アプローチデータを活用したLRT（次世代型路面電車）導入に伴う交通影響調査
- ▽横井和樹（中央復建コンサルタント）。